


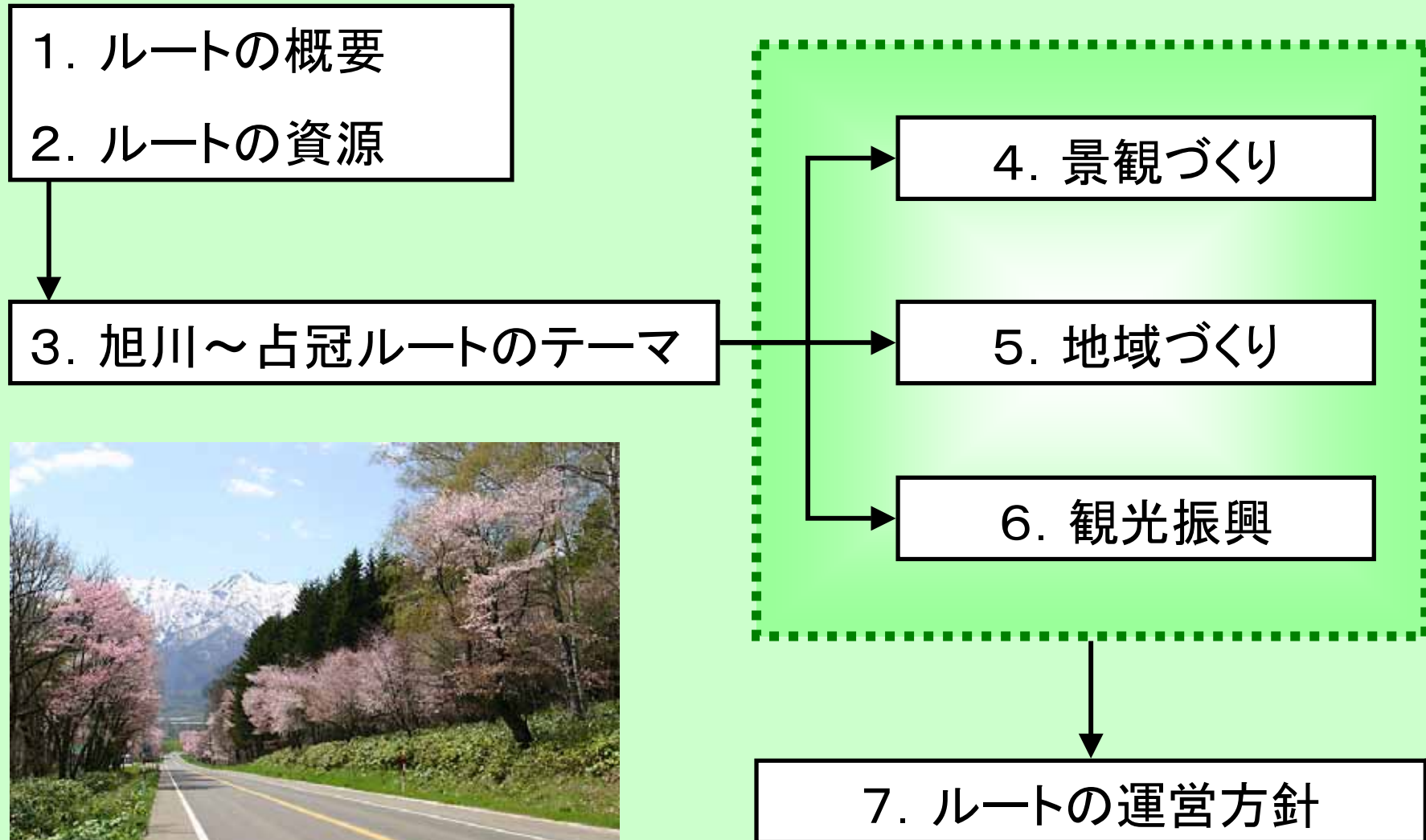
2005.5.9 推進協議会



シーニックバイウェイ北海道 大雪・富良野ルート
ルート運営活動計画

大雪・富良野ルート運営代表者会議

ルート運営活動計画の構成



1. ルートの概要

(1) ルートの位置とエリア

関係市町村: 旭川市、東神楽町、東川町、美瑛町、上富良野町、
中富良野町、富良野市、南富良野町、占冠村

主に関係する道路: 国道237号、国道38号、
道道旭川大雪山層雲峡線

(2) ルートの概要

旭川～占冠ルートは、大雪山・十勝岳連峰の裾野とその山懐を通り北海道らしい山岳丘陵景観で知られる有数の道路景観を有する場所。これらの景観は、ラベンダーに代表される花々に彩られ、四季折々に美しい表情を見せる。

2. ルートの資源

(1) ルートの景観資源

- 大雪山・十勝岳連峰の雄大な眺め
- 丘陵地に広がる色彩豊かな農地
- 深く豊かな森林地帯と緑に包まれた水辺
- 人々の生活の息吹を伝える花人街道



(2) ルートの観光資源・参加体験型資源

- 波状丘陵農地風景
- 山岳と水辺のアウトドア体験
- 温泉と癒しの場

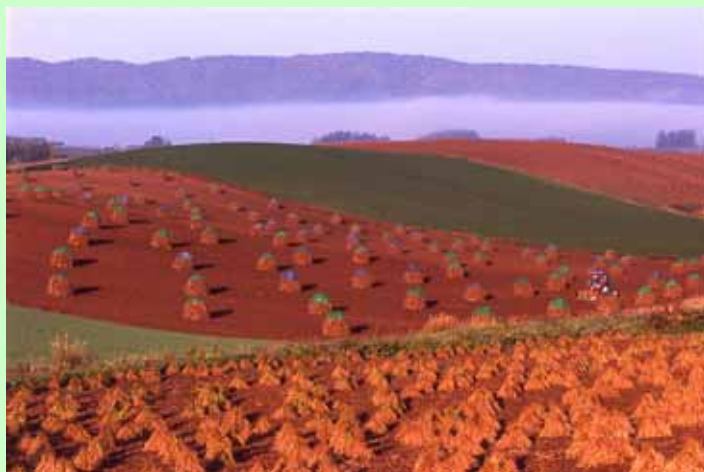
(3) 旭川～占冠ルートを特徴づけている資源のまとめ

※資料参照

(4) ルートの活動団体と活動内容

現在16団体が活動団体として登録

※詳細は資料参照



3. 旭川～占冠ルートの特マ

(1) ルートの名称と特マ

ルート名称: ^{たいせつ}大雪・^{ふらの}富良野ルート

- ・一般の人達が場所のわかる名称
- ・資源である大雪・十勝岳連峰のイメージを残す
- ・ルート全体を包括する名称(旭川～美瑛の「大雪」と「富良野」)

特マ: 四季を彩る花人街道

- ・花人街道という言葉の特マに盛り込む
- ・四季、彩りなどの言葉を考慮する

(2) ルートストーリー(ルートが目指す姿)

※資料参照

(3) 具体化に向けた目標と方針

景観づくり

北海道らしい雄大な景観と豊かな自然環境を未来に残す

地域づくり

ルートの個性を活かし、連携・協働の地域づくりを推進する

観光振興

観光情報の提供と参加体験型観光を充実させる

4. 景観づくり

- ①大雪山・十勝岳連峰を美しく見せ、親しむ
- ②波状丘陵地の田園景観を保全する
- ③花人街道としての景観を整える



不要な
看板の撤去



5. 地域づくり

- ① 活力ある地域づくり
- ② コリドーとしての連携や参加意識の醸成
- ③ 農業・観光・商業の連携と協働による地域づくり
- ④ 地域の自然・文化・歴史を共通の資産として保護活動を推進
- ⑤ ユニバーサルデザインの推進



6. 観光振興

- ① 田園型リラクゼーション観光の充実
- ② 農業と連携した観光のしくみづくり
- ③ シーニック・ランドオペレーション機能の充実



7. ルートの運営方針

(1) ルートの運営方針

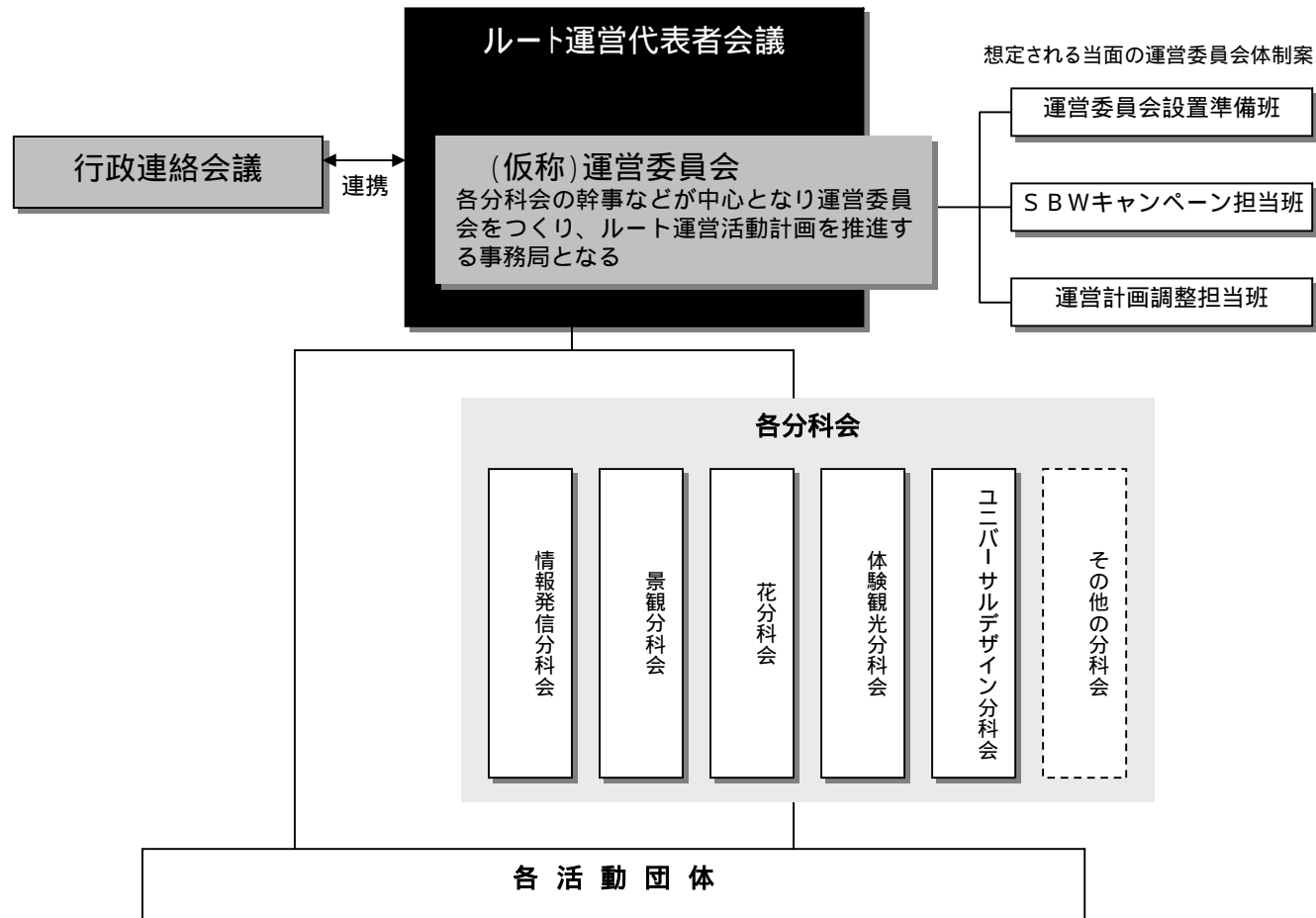
- ❶ ビジネスモデルとしての成功を目指す
- ❷ 「分科会等の連携(広域)プロジェクト」に重点をおく
- ❸ 成功事例を積み上げ、意義を広める



(2) 短期から長期の達成目標の設定

	短期			中期			長期			
	05(H17) 1年目	06(H18) 2年目	07(H19) 3年目	08(H20) 4年目	09(H21) 5年目	10(H22) 6年目	11(H23) 7年目	12(H24) 8年目	13(H25) 9年目	14(H26) 10年目
組織体制	原資確保の検討を進め、組織体制の大枠を定める			組織化を実現し、自立を目指す			組織体制を固め(充実化)させ、継続的な活動を可能にする人材や資金の確保を目指す			
方策の実践	主要な方策の本格実施に向けた下地づくりを進める すぐに取り組めることには着手する			根幹となる主要な方策に着手する			主要な方策が具体化し、その効果の検証と評価を進め、方策の見直しや新たな方策の検討を行う			
認知周知	地域にシーニックバイウエイと本ルートが存在を定着させる			道内にシーニックバイウエイと本ルートが存在を定着させる			全国にシーニックバイウエイと本ルートの存在を定着させる			

(3) 運営体制



大雪・富良野ルートは・・・

全国的な知名度と
高い好感度

アジアを代表する
ルートを目指す

心が癒される環境

